

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称：

製品名称：KBD クリーン アンド ウェット

整理番号：KBDCW

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：給水ローラー用洗浄剤

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：株式会社光文堂

住所：〒460-0022 愛知県名古屋市中区金山2丁目15番18号

担当部署：販売推進部

電話番号：052-331-4111

FAX番号：052-331-4691

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類、GHSラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B

特定標的臓器毒性(単回ばく露)：区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)：区分 1

誤えん有害性：区分 1

GHSラベル要素



注意喚起語：危険

危険有害性情報

引火性液体及び蒸気

眼刺激

眠気又はめまいのおそれ

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害

飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

応急措置

火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

無理に吐かせないこと。

飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。

貯蔵

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：

混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
石油系炭化水素	25～35	登録済	登録済
ジエチレングリコールモノエチルエーテル	非公開	111-90-0	2-422
プロピレングリコールモノメチルエーテル	35～45	107-98-2	2-404
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル	非公開	登録済	7-97

不純物および安定化添加物

なしと推定される。

4. 応急措置

吸入した場合

被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。必要があれば人工呼吸または酸素吸入等を行い、安静保温につとめ医療措置を受ける手配をする。

皮膚(又は髪)に付着した場合

汚染された衣類、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。石鹼等を使ってよく落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける手配をする。

眼に入った場合

清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受ける。洗浄の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたの隅々まで水がよく行きわたるように洗浄する。

飲み込んだ場合

水で口腔内を十分に洗浄する。コップ1～2杯の水、又は牛乳を与えて胃内を薄めても良い。直ちに医療措置を受ける手配をする。被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤

粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤

水を使用してはならない。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

火元への燃焼源の供給を速やかに断ち、消火剤で消火する。周囲の設備等に散水して冷却する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火活動は風上から行い、有毒なガス、煙等の吸入を避ける。状況に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

ばく露防止のため、保護具(項目8参照)を着用して作業を行う。必要に応じて換気を行う。

環境に対する注意事項

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法(回収、中和等)

多量の場合、盛り土・土嚢等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから空容器への回収等の処理を行う。

少量の場合、オガクズ・ウエス、砂等の吸着剤に吸着させて除去した後、残りをウエス・雑巾等でよく拭き取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

適切な保護具を着用し、皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、目に入らないようにする。

(火災・爆発の防止)

取り扱い場所周辺の高温物・スパーク・火気の使用を禁止する。

安全取扱注意事項

作業場の換気は十分に行う。漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに蒸気を発生させない。

接触回避

他の薬剤とみだりに混合しない。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、冷暗所に保管する。周辺での火気の使用を禁止する。

(避けるべき保管条件)

高温と着火源を避けること。

安全な容器包装材料

製品に使用している容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度 データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度 データなし

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

ACGIH(2013) TWA: 50ppm;

STEL: 100ppm (眼及び上気道刺激)

ばく露防止

設備対策

取り扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。適切な排気設備を使用する。

保護具**呼吸用保護具**

防毒マスク(有機ガス用)、送気マスク、空気呼吸器等を着用する。

手の保護具

不浸透性保護手袋を着用する。

眼の保護具

状況に応じて普通眼鏡型又はゴーグル型の保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護服、保護長靴、保護前掛け等を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理状態：液体

色：無色透明

臭い：炭化水素臭

融点/凝固点 データなし

沸点又は初留点 データなし

沸点範囲 データなし

可燃性(ガス、液体及び固体) データなし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 データなし

引火点：(タグ密閉法)約30℃

自然発火点 データなし

分解温度 データなし

pH データなし

動粘度 データなし

動粘性率 $\leq 20.5\text{mm}^2/\text{s}$

溶解度：

水に対する溶解度：分散

溶媒に対する溶解度 データなし

n-オクタノール/水分配係数 データなし

蒸気圧 データなし

蒸気密度 データなし

密度及び/又は相対密度：0.87~0.91(25℃)

相対ガス密度(空気=1) データなし

粒子特性 データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

反応性 データなし

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

特記すべき反応性なし。

避けるべき条件

直射日光、スパーク、熱/熱源

混触危険物質

他の薬剤とみだりに混合しない。

危険有害な分解生成物

分解による危険有害物質の生成なし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

急性毒性(経口)

[会社固有データ]

経口 ラット LD50 >2,000mg/kg * 1

急性毒性(経皮)

[日本公表根拠データ]

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

rabbit LD50=4200mg/kg (SCCS, 2013)

急性毒性(吸入)

[日本公表根拠データ]

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

mist: rat LC50=5.24mg/L (SCCS, 2013; BG Chemie Toxicological Evaluations, 1995)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

vapor: mouse LC50=7395-9258ppm/4hr (SIDS, 2003)

局所効果

皮膚腐食性/刺激性

皮膚に対して、軽度の刺激がある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼に対して、軽度の刺激がある。

呼吸器感受性又は皮膚感受性 データなし

生殖細胞変異原性 データなし

発がん性

[ACGIH]

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

A4(2013): ヒト発がん性因子として分類できない

催奇形性 データなし

生殖毒性 データなし

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

麻酔作用 (ECETOC TR95, 2005; SIDS, 2003)

[CLP規則 附属書VI 表3]

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

区分 3, 麻酔作用

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

[区分1]

[日本公表根拠データ]

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

呼吸器 (SCCS, 2013; Patty 6th, 2012)

誤えん有害性

飲み込み、気道に侵入すると生命に危険のおそれ * 2

12. 環境影響情報

生態毒性

生態毒性 データなし

水溶解度

(石油系炭化水素)

溶けない (ICSC, 2006)

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

非常によく溶ける (ICSC, 2004)

(プロピレングリコールモノメチルエーテル)

非常によく溶ける (ICSC, 1997)

残留性・分解性

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

急速分解性あり(類似化学物質の分解性との比較により判定(化審法DB, 2012))

生体蓄積性

(ジエチレングリコールモノエチルエーテル)

log Pow=-0.15 (estimated) (ICSC, 2004)

土壌中の移動性

土壌中の移動性 データなし

他の有害影響

オゾン層への有害性 データなし

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報
廃棄物の処理方法

残余廃棄物及び汚染容器は廃棄物処理法に従って処理する。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 : その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

容器等級 : III

指針番号: 128

特別規定番号 : 223; 274

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 : その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

容器等級 : III

特別規定番号 : 223; 274; 955

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号 : 1993

正式輸送名 : その他の引火性液体、N.O.S.

分類または区分 : 3

危険性ラベル : Flamm.liquid

容器等級 : III

特別規定番号 : A3

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当): 非該当

特別の安全対策

容器が破損しないように乱暴な取り扱いを避ける。荷崩れ防止を確実に行う。

火気厳禁

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

有害液体物質(Z類)

プロピレングリコールモノメチルエーテル; ジエチレングリコールモノエチルエーテル

MARPOL条約附属書V - HME(海洋環境に有害)

特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 該当物質

ジエチレングリコールモノエチルエーテル

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法
引火性液体類 分類3
航空法
引火性液体 分類3

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法

毒物及び劇物取締法に該当しない。

労働安全衛生法

特化則に該当しない製品

有機溶剤等に該当しない製品

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物

名称表示危険/有害物

プロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の496) 35~45%

名称通知危険/有害物

プロピレングリコールモノメチルエーテル(別表第9の496) 35~45%

別表第1 危険物(第1条、第6条、第9条の3関係)

危険物・引火性の物(30°C ≤ 引火点 < 65°C)

化学物質管理促進(PRTR)法

化学物質管理促進(PRTR)法(令和5年4月1日施行)に該当しない。

消防法

危険物

第4類 引火性液体第2石油類水溶性液体 危険等級 III(指定数量 2,000L)

化審法

優先評価化学物質

ジエチレングリコールモノエチルエーテル(通し番号110 人健康影響)

ポリオキシアルキレンアルキルエーテル(通し番号271 生態影響)

大気汚染防止法

該当しない

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 引火性廃油

土壌汚染対策法

該当しない

水質汚濁防止法

該当しない

化学安全性評価

本製品の化学安全性評価は行なわれていない。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21th edit., 2019 UN

IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)

IATA 航空危険物規則書 第62版(2021年)

2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)

2022 TLVs and BEIs. (ACGIH)

Supplier's data/information

1) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)(JIS Z 7253:2019)

2) NITEのGHS分類データを参照。

* 1 原料SDSより推測(GHS方式にて計算)

* 2 区分1(炭化水素で40°C動粘度係数 20.5mm²/s以下)を10%以上配合し、製品としての動粘

度係数 $20.5\text{mm}^2/\text{s}$ 以下であるため該当する。

責任の限定について

この情報は新しい知見に基づき、改訂されることがあります。記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅したわけではございませんので取り扱いには十分注意して下さい。